



イオンに設置された大型電飾看板と放香器。香りに誘われて多くの買い物客が足を止める。



香りの正体は、放香器に取り付けられたカートリッジの 珍しさに誘われて香りを楽しむ親子の姿も、中にある。

香りの出る広告 (放香器)  
 気になるお値段は…  
**ズバリ 6万9960円**  
注：1台あたりの月額レンタル料金。香りの素が入るカートリッジは1本8400円

## 香りの効果で 五感を刺激し、 商品訴求

### 香りの出る広告

「放香器」と大型内照式パネルを組み合わせた香りの出る広告は、消費者の五感を刺激し、商品訴求できるとあって、さまざまな場所で活用されている。

最近ではユニリーバ・ジャパンが「Dove (ダヴ) ボディウォッシュ」の新品である「Go Fresh (ゴーフレッシュ)」を訴求するため、4月11日から24日まで、全国のイオン38店舗で、このパネルと放香器を組み合わせて忠実に香りを再現した。大型内照式パネルだけの展開も行っており、全国のイトーヨーカドー店舗で見ることができている。

これらのパネルはエムシールドウコー社製で、広告掲出費用は2週間掲出で1ネットワーク定価3500万円。またプロモツール社製の放香機は1台あたりのレンタル料金が月額6万9960円(定価)だ。ちなみに、香りの「素」が入るカートリッジの価格は1本8400円だ。

掲出場所では買い物客が足を止め、香りを楽しんでいる様子が多く見られた。

## カットティングシートか手塗りか 予算に応じて賢く選択

### ポデュー広告 (江ノ島電鉄)



窓も含め、車体外壁全面にキャラクターなどが描かれている。

ラッピング電車  
 気になるお値段は…  
**ズバリ 100万円**  
注：カットティングシート貼り1カ月の場合、広告料金85万円、補修費15万円



車内も「ワンピース」一色に染まっている。

集英社は2007年7月下旬から約1カ月間、「少年ジャンプ」に連載中の漫画「ワンピース」の連載10周年を記念して神奈川・鎌倉周辺で大規模なプロモーションを展開した。

プロモーションが展開された約1カ月間、ワンピースのキャラクターが描かれた江ノ島電車2両が運行された。集英社によればイベント・プロモーションにかかる費用はまとめて計上しているため、個別の費用を出すことはできないという。

江ノ電の広告を扱う江ノ電商事によると、車体全体に塗装を手塗りで施すポデュー広告は、6カ月間で830万円、12カ月で1349万円だ。これにペイント料95万円がかかる。

一方、車体にカットティングシートをはる場合は、1カ月あたりの広告料金は85万円、補修費を合わせると100万円になる。同社によると、ワンピースのケースでは、カットティングシートを貼って展開したという。